

【別表】評価基準

評価項目	評価の着眼点	判断基準	評価点
1 実施方針	(1) 業務の理解度	本業務を実施するにあたり、地域共生社会が必要とされている背景やその考え方、本市の課題や業務目的などを理解し、重層的支援体制整備事業の効果的・効率的な推進につながる提案となっているか。	5点
	(2) 業務の考え方や実施手法等	(1)を踏まえた上での提案システムのコンセプト・特徴・内容になっているか。	10点
		関係機関（行政、地域包括支援センター、市社会福祉協議会等）における具体的な業務を意識した機能や連携手法など、業務改善につながる効果的な情報共有の仕組みとなっているか。	15点
		地域資源情報の掲載項目やアカウントユーザーの拡張・変更などに十分対応できる柔軟性・持続性のある仕組みとなっているか。	15点
		業務実績等のノウハウを活かした本業務に対する継続的な支援が提案されているか。	15点
	(3) 実現性	提案した業務内容に実現性（システム内容、スケジュール等）は十分見られるか。	10点
2 実施体制	(1) 業務実績	本業務に関する業務実績（他自治体への導入実績等）を有しているか。	10点
	(2) 実施体制	本業務に対して適切な人員が確保されているか。	5点
	(3) 実施能力	組織として実施内容に関する幅広い知見・情報収集能力を有しているか。また、円滑に業務を遂行するためのバックアップ体制・管理体制が示されているか。	5点
3 提案価格	業務に要する費用	評価点＝最も低い提案価格÷提案価格×10（小数点以下切り捨て）	10点
評価点合計			100点

※ 100点×委員数が総合点の満点となる。総合点の60点×委員数を合格の最低点とする。